

2021年9月1日

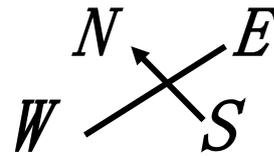
第328号

藤 沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット



主
な
記
事

- ・砂防林に農薬ネオニコチノイド散布
- ・街頭原爆展開催 ・放射能測定値
- ・脱炭素シナリオ市民講演会参加を
- ・環境審議会傍聴を ・コロナの現状⑦

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

「ふじさわ防災ナビ」活用を！

藤沢市は今年2月に気候非常事態宣言を表明し、なによりもCO₂ ネット・ゼロを早期に達成することが求められますが、同時に適応策としての防災対策も欠かせません。今回は以下の地域防災計画の修正が予定されているので3つの改訂について概略しました。

地域防災計画の修正

6月に6年ぶりに「ふじさわ防災ナビ」98頁が全戸配布されました。また秋からは主に以下のような計画修正が予定されており、今後大きな個別対策の見直しが求められます。

- ①前回の修正 2017年以降、境川と引地川の風水害による洪水浸水想定が大幅にかわったこと、また高潮浸水区域が指定されました。
- ②避難行動要支援者の個別避難計画が努力義務化されました。
- ③コロナ感染症対策として、避難所における収容人数を従来の半分にする予定で検討されています。

津波ハザードマップの改訂

今回の改訂版ではこれまでの**慶長型地震の想定**—藤沢辻堂海岸では津波高さ8.6mで50分で到達、海拔約5mまでの浸水域は4.0km²から、**相模トラフ西側モデルの想定**—津波高さ8.8m、8分で到達、海拔約6~8mまでの浸水域は4.7km²へと変わったことが大切です。この改訂により特に辻堂地域の浸水域は大きく変わりました。マップが6年間全戸配布されなかったり、津波防災看板は今でも変更されていないなどの問題点がありました。周知徹底が必要です。

洪水ハザードマップの改訂

2015年に水防法が改正され、基準がこれまでの「河川整備の目標とする降雨」から「想定しうる最大規模の降雨」に高められ以下になりました。これらの変更は現在進行中の村岡新駅計画、市民会館計画、引地川流域河川改修の見直し等に関係しています。

表 藤沢市の河川の新基準による降雨量	新基準 想定最大規模降雨		旧基準 河川整備目標降雨量	
	洪水規模・流域24時間雨量	洪水規模	洪水規模	洪水規模
境川・柏尾川	632mm/24時間		292mm/24時間	
引地川・蓼川	412mm/24時間		74mm/1時間	
目久尻川	398mm/24時間		81mm/1時間	
小出川	354mm/24時間		81mm/1時間	

相模灘高潮想定区域指定

藤沢の地域防災計画では、最高潮位(平均海面水位)3.3mで浸水面積約2.0km²、最大浸水深3mと想定されています。

(山内幹郎 藤沢市会議員)



くり (石川で実りの秋みつけた)

いつものことながらこのような問題に、どうしたら若い人たちに自分のこととして関心を持ってもらえるのか、と考えさせられます。若い人たちが賛同してくれないとなかなかインパクトのある大きな運動にはならない・・・

(金内利男)

原爆展に寄せて

『2021 街頭原爆展～ 核兵器のない平和な世界を目指して』が8月6日(金)、午後4時～5時 まで辻堂駅北口デッキで催されました。(8月9日には藤沢駅サンパールでも実施)

6日は、夕方に近いとは言え、快晴で強烈な太陽が照りつけて、広島に原爆が落とされたあの午前8時15分の“熱さ”を彷彿させるような天候でした。



北口デッキでは、「核兵器をなくそう!」という大きな横断幕を掲げて核兵器廃絶を願う署名活動が熱心に行われていました。また、周辺のデッキの手すりには、原爆を被災した人たちが描いた地獄絵かとはばかりに眼をそむけたくなるような原爆パネルが展示されていました。夏休みということもあってか、多勢の人たちが行きかいます。

一方で趣旨に積極的に賛同して署名をする人。目を背けたくても魅入られたように引き込まれてしまい、じっと眉を顰めながらも原爆パネルを見続ける人。こ

ちらはどちらかという
と年配の人たちが多い。

他方で、そういう人たちのそばを避けるように足早に去っていく人。まったく無視して自分の世界に入り込み、談笑しな



がら軽やかに通り過ぎる人。こちらは、どちらかという若い人たちが多い。



砂防林に農薬ネオニコチノイド散布!

湘南海岸砂防林への2週間にわたりの長年の猛毒薬剤散布は海側に住む人々でさえ殆ど知らない中でおこなわれてきました。

藤沢～大磯までの広大な砂防林にたいしてです。

今年は5月中旬から2週間にわたり薬剤散布は行なわれていました。

私は鵜沼の海近くに住んでいますが、そのような回覧も回らず、知らない中、6月6日歯科受信のため海側のサイクリングロードを自転車で藤沢から茅ヶ崎まで走ったのです。薬剤散布は今まで毎年行ってきた慣例です。

歯科受信を終え帰りも同じサイクリングロードを走ったのですが、家に着いたとたん、私は庭に駆け込み嘔吐したのです。そしてその夜から3日間夜中嘔吐を繰り返しました。それから今まで経験したことのない目の充血が始まりました。痛くもかゆくもない真っ赤な目の充血。この時私は、幸い眼科にかかっています。これは一つの証拠となり今後の薬剤散布中止運動に役立つかもしれません。この時はまだ薬剤散布のことは知らず気がついておりませんでした。

何がきっかけでしたか覚えてないのですが、しばらくたってこのことを知り、すぐに散布を行なう県の出先に電話を入れました。

神奈川県藤沢土木事務所 なぎさ港湾課 Tel 0467-58-1473 内線 223 へです。薬剤の種類を問い合わせますと、ネオニコチノイド農薬ということです。

昨日、藤沢の図書館へ行きましたら、あの大量の本ですのに一冊の本が目に入りました。それは、～悪魔の新農薬「ネオニコチノイド」～船瀬俊介著でした。なんとという出会い…を私は神様に感謝しました。

(伊藤直子)

「気候危機は待ったなし！！」

今回 IPCC 第 1 作業部会(自然科学的根拠) 第 6 次報告書が公表されました。

特記すべきことは『人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。』と断言されたことです。また予想される気温上昇の不確定な幅が狭まり最低の場合でも確実に気温が上昇する傾向が確認されています。

私は 1990 年頃から地球温暖化問題に関わってきました。最初の IPCC 報告書は 1990 年に公開され、5 年毎に出されてきたので 30 年後に第 6 次報告になりましたが、当時より CO2 排出量も増大する一方でメタン等 CO2 以外の温室効果ガスの寄与も増大しています。

スエーデンの女子高校生グレタ・トゥーンベリが気候変動防止への真摯な取り組みを要求して金曜日学生ストライキを開始し、世界的に有名になったのは 2018 年でした。その頃から世界的にも山火事が増えたり、日本でも豪雨、台風、高潮等の被害が顕著になり、気候危機とか気候非常事態(英語では Emergency)という認識が急に高まって来ました。

菅政権も積極的な排出削減への取り組みを宣言し、2030 年に 2013 年比 46%削減目標を設定、8 月初旬に出された日本のエネルギー基本計画でも再生エネルギーの積極導入、省エネルギーの推進が示されましたがまだ大幅排出削減実現への展望は見えていません。

藤沢市でも気候非常事態宣言を表明しましたが、大幅な排出削減を見通せる施策はほとんど何も始まっていません。

もはや気候危機は待ったなし、市民自らが行動を起こす時です。具体策を皆さんと一緒に考えたいと講演会を開催することにしました。これをきっかけに市内の大幅排出削減が始まることを願っています。

(外岡 豊)

チラシをご覧ください。

9 月 12 日(日) 14:00~16:30 オンライン
(Zoom) でも行われます(参加費無料)

講師：外岡豊氏(埼玉大学名誉教授・藤沢市民)

歌川学氏(産業技術総合研究所主任研究員)

「藤沢市環境基本計画」に注目！！

藤沢市環境基本計画が改定中です。第一次素案が 7 月の環境審議会にて審議され、第二次素案は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、9 月 15 日にオンラインで審議予定です。

この藤沢市環境基本計画は、2022 年から 2030 年の期間適用されます。改定に期待が膨らむ一方で、第一次素案の 2030 年までの温室効果ガス削減目標 37.2% (2013 年比) では、まだ不十分だと私は考えます。なぜなら、温度上昇 1.5℃~2℃の間に不可逆的な連鎖反応が起き、地球の温暖化は止まらなくなるといわれており、1.5℃に抑えるためには 2030 年までに CO2 排出量を 45%削減(2010 年比)し、2050 年までにゼロする必要があります。

全世界共通で、私たち人類の未来の分岐点は間違いなく 2030 年です。何の為に CO2 削減なのかを再認識し、あと 9 年でどうやったら削減できるのかを私たち市民、事業者、行政が真剣に考えて協力し行動に移す時が来ています。

10 月にはパブリックコメントが予定されています。これは市民の声を計画に反映するために設けられます。身近な将来世代の顔を思い浮かべて、ぜひ皆で参加しましょう。
(Y・F)

コロナの現状 ⑦

痛ましく悔しく悲しいことが起きてしまい衝撃は大きい。千葉県柏市で 8/17 コロナ感染した妊婦が出産に入院できず自宅で出産、赤ちゃんは亡くなった。悲しい出来事。感染者が激増し医療施設が満杯で自宅療養せざるを得ない状況となった。

死亡者が毎日報告され、なぜ入院治療ができないか痛む。医療施設が追い付かず、電話だけでは危険な状態を見極められない。しかも、急変が特徴的だ。

東京オリンピックを始める前に第 5 波が押し寄せた。五輪は中止せず無観客、一部観戦ありで強行された。そしてパラリンピックも無観客で実施されている中「緊急事態宣言・重点措置」は再延長され 9/12 まで全国 33 都道府県に、順に拡大され発せられた宣言、更に延長の様相である。もはや災害と言える。

(次ページへ)

つづき

藤沢市長と医師会会長が共同で市民に向け8/16この「緊急事態」に感染予防対策、諸注意、ワクチンも十分用意していると訴えた。効果は？。

8月中旬以降、爆発的に感染が広がった「デルタ株」は従来のウイルスの2倍ほど感染が広まりやすいとみられている。

家族内の感染が多く小さい子どもにまで及び、20代から50代で80%を占める。変異株（デルタ株）の割合が各地で9割を超えると推計されており、アルファ株からデルタ株に一部の地域を除きほぼ置き換わったと考えられている。

藤沢市では、政府の決めた「軽症者の自宅療養」を基本とする事とし、医療のひっ迫から入院が難しい状況。自宅療養者や妊産婦に対して保健所から自宅へ毎日電話し確認しているという。これでは家族が皆感染してしまう。

市の保健所ではデルタ株の状況や病床のひっ迫状況や数値は伝えられないとの事。最低限の公開は必要ではないだろうか？ 現在、保育園、学童保育所、福祉施設などにクラスターが発生し、休園した保育園は数か所、開所の見通しがつかない学童保育所もある。どこの施設かは明らかにされないため、ビクビクしながら通園しているとの声もある。

神奈川県HPから調べてみた。8/30現在、感染者の状況 24,588人のうち 19,377人がデルタ株(78%)。17,909人が療養者。病床 1652床の状況は、重症者用 238床のうち88%、中等・軽症 1414床のうち 81%が埋まっており、病床はひっ迫している。残りは自宅療養 15,431人、宿泊施設療養 640人(8/29現在 県HPより)

PCR検査は、家族が感染しても濃厚接触と認められず自費で検査をと言われた。「これなら感染拡大は当然起こる」と感ずる。無症状の感染者を無くすため、無料のPCR検査をしてほしい。(荒井)



放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 (μSv/h) 地上50cm

8/30 晴 市役所本庁舎室内 0.040

8/30 晴 六会公民館室内 0.058

ECONET INFORMATION

▲「花はどこへ行った」上映とトーク

坂田雅子さん(監督)・武本匡弘さん

9月11日(土) ①10:30- ②14:00- ③16:30-

3回 お弁当希望の方 800円で店内で可能

場所 エコストアパパラギ特設会場

申込み 0466-50-0117 参加費 ¥1000

主催/NPO 気候危機対策ネットワーク



▲気候正義 生物多様性への思い

～命・地球・平和を語る～

山内若菜(日本画家)・武本匡弘(環境活動家)コラボ

9月25日(土) 14:00- 参加費 1000円

場所 藤沢市民会館第1展示ホール

主催/NPO 気候危機対策ネットワーク

後援 エコストアパパラギ・湘南のなぎさを守る藤沢市民の会

連絡先 0466-50-0117



▲プラスチックごみのリサイクルと

処理・処分方法の移り変わり

講師 坂本広美さん(県環境科学センター調査研究部長)

9月30日(木) 14時～16時 オンラインで開催

参加費 無料 申込は9/16×切 先着100名

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kank>

[yougakushu/](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kank) から「e-kanagawa」へ

主催 神奈川県環境科学センター

▲市民会館等再整備事業についての市民学習会

第1回 9月16日(木) 18:15-市民会館2展示ホール

第2回 9月23日(木) 17:30 市民会館2展示ホール

参加費 300円 主催/藤沢の文化芸術を考える会

申込み 0466-45-8048 (藤沢子ども劇場)

▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 9月4日(土) 10:00～

六会公民館和室

《編集後記》《編集後記》1923年発生した関東大震災から98年、最大震度7の揺れが1分近く続き、津波や大火事が発生、死者行方不明者10万人以上に達した。最近国内で有感地震が週30回以上あり気になる。8/27に村岡新駅周辺都市計画公聴会が開かれた。東海道線4.6Kmの中間に駅は必要か、誰の為の大型開発か、ハザードマップで洪水浸水想定区域、乗客推計65,800人はコロナ後考えられない等反対意見7人、賛成意見1人。(A)